

つなぐ技術で、あなたに喜びを

BUFFALO™

長崎県病院企業団 長崎県上対馬病院 様



複数ネットワーク提供が可能なWi-Fi機器を導入し、
病院の業務効率化と患者の利便性向上を実現

目的・課題

テレワーク・
リモート対応

業種

医療・福祉関連

導入商品

Wi-Fi(無線LAN)

病院内で高まるWi-Fiニーズに対応するため、無線LANアクセスポイントとPoEスマートスイッチで複数ネットワークの提供が可能なWi-Fi環境を構築



導入先プロフィール (2022年2月現在)

施設名	長崎県病院企業団 長崎県上対馬病院
所在地	〒817-1701 長崎県対馬市上対馬町比田勝630
URL	URL: http://www.kamibyo.jp

日本有数の離島面積を誇る長崎県・対馬。その中核的医療機関として地域医療を支える長崎県病院企業団 長崎県上対馬病院(以下、長崎県上対馬病院)は、2009年の組織変更を機に病院内にWi-Fi環境を構築しました。以来、約12年間にわたって同じWi-Fi機器を使用していましたが、製品寿命による今後の故障リスクを鑑み、電子カルテの更新タイミングにあわせてWi-Fi機器のリプレースを実施。また、病院におけるWi-Fi需要の増加に対応するため電子カルテ用・業務用・職員用・患者用のWi-Fi環境を構築しました。

課題

多様化が進むWi-Fi
ニーズへの対応が必要

- 10年以上同じWi-Fi機器を使用 ▶ 新機種へのリプレース
- 病院内でWi-Fi需要が増加 ▶ 職員用・患者用のWi-Fiを導入したい
- 航空レーダーがある施設が近い ▶ DFS障害による無線LAN停止を懸念

対策

DFS障害回避機能を備えた無線LANアクセスポイントを導入

効果

業務効率と
患者の利便性が向上

- 患者用Wi-Fiの提供 ▶ 入院患者の余暇充実に
- 安定性・高速通信を備えたWi-Fi環境 ▶ 電子カルテ・院内ネットワークの安定稼働
- 職員用のネットワーク環境を提供 ▶ 職員のオンライン会議が院内どこでも可能に

選定の
ポイント

DFS障害回避機能を備え、
安定通信が可能な「WAPM-1266R」を選定

お客様インタビュー

長崎県病院企業団 長崎県上対馬病院
総務係 望月 敏男氏



広範囲での安定通信が可能なWi-Fi機器を用いて院内ネットワークを再構築。 職員用・患者用Wi-Fiを新たに提供して業務効率化と利便性向上を実現

概要

- Wi-Fi機器を新機種に入れ替え
- 職員用・患者用Wi-Fiを解放

複数のネットワーク提供が可能なWi-Fi環境を構築

電子カルテをはじめとする医療系システムの導入や患者へのインターネット環境の提供など、病院におけるWi-Fi需要は年々高まっています。長崎県上対馬病院でもそうした需要に対応するため、電子カルテの更新に伴いWi-Fi環境の整備に着手。Wi-Fi機器のリプレイスとともに、新たに職員用・患者用のWi-Fi環境を構築しました。

職員用・患者用Wi-Fiの解放により利便性が向上

それまで電子カルテ用と業務用に限定されていたWi-Fiを職員用・患者用にも解放。それにより、スムーズなオンライン会議・セミナー参加が可能になったほか、患者の利便性も向上。タブレットによる病床のモニタリングなど、コロナ禍を見据えた院内環境整備にもWi-Fiが活用されています。

目標・課題

- 同じWi-Fi機器を12年間使用
- オンライン会議の際に手間が発生

病院でのWi-Fi需要増加に対応したい

同院では2009年に院内ネットワークを構築して以来、約12年間にわたって同じWi-Fi機器を使用していたため、製品寿命による故障リスクを懸念していました。また、当時は電子カルテ用Wi-Fiと業務用Wi-Fiに限定されており、昨今、病院でのWi-Fi需要が高まっていることから患者用Wi-Fiの重要性も認識していました。

オンライン会議参加にはパソコンの持ち運びが必要

業務用Wi-Fiの切り分けも課題のひとつでした。NAS・インターネット双方に接続可能な環境だったため、当時はセキュリティの観点から一部職員に利用を限定。コロナ禍の影響で会議・研修のオンライン化が進む中、会議のたびにIPアドレスを割り当てたパソコンを持ち運び、セッティングする手間が発生していました。

解決策

- 安定・高速通信可能な機器選定
- 病院の職員が管理しやすい機器仕様

限られた予算内で安定してつながるWi-Fi環境を構築

機器選定にあたっては複数メーカー製品を比較検討。その結果、保守期間が長く、安定性と高速通信にも優れた費用対効果の高い「WAPM-1266R」が採用されました。DFS障害回避機能も搭載しており、近くに空港など航空レーダーを持つ施設がある対馬でも安定したWi-Fi環境の構築が可能です。

病院の職員が管理しやすい機器仕様もポイントに

天候不良などで販売店が駆けつけられない場合も考慮し、Web設定画面での直感的な操作性をはじめ、病院の職員にとつての管理のしやすさも選定ポイントとなりました。また、一部のWi-Fi機器はPoE給電にて電源を確保。電源取得場所から離れていても新たな電源工事が不要のため、工事費用の圧縮につながります。



院内全域での安定通信を実現するために「WAPM-1266R」を採用。

効果

- 患者の利便性が大幅向上
- 業務効率化・コスト削減効果も

患者用Wi-Fiの提供で診察待ち時間のストレスを解消

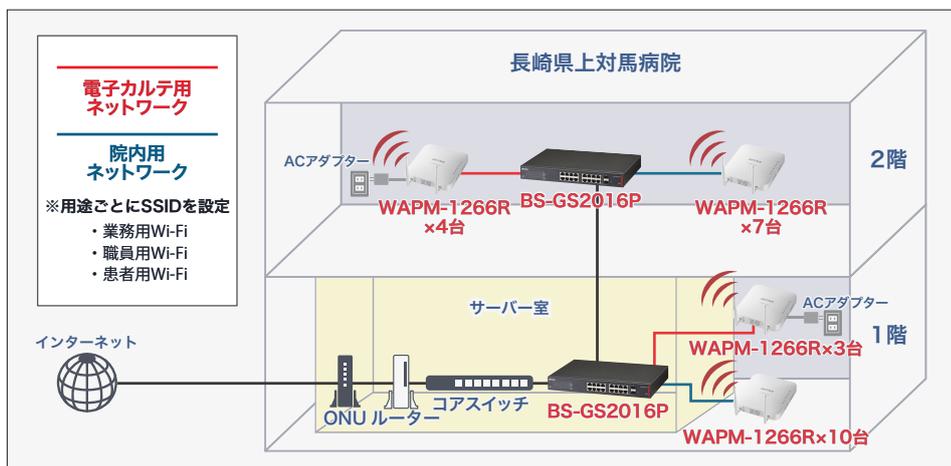
長崎県病院企業団 長崎県上対馬病院 総務係 望月 敏男氏は「患者様用Wi-Fiの解放により、入院患者様の余暇充実や外来患者様の診察待ち時間の有効活用など、利便性が向上しました。病院内は携帯電波がほとんど入らないこともあり、ご家族との連絡手段としての利用も含め「便利になった」との声をいただいています。」と話します。

業務効率化への貢献に加え、コロナ禍の対策にも活用

職員用Wi-Fiに関しては、会議前のセッティングが必要なくなり場所・時間を問わずオンライン会議やセミナーへの参加が可能に。会議やセミナーの為に、片道3時間以上かかっていた移動負担も解消されました。また、それに伴い交通費も約90%削減。タブレットによる病床モニタリングなど、コロナ禍対策に向けた院内環境の整備にもWi-Fiを活用しています。



PoE給電可能なスマートスイッチ「BS-GS2016P」を導入



もともとは電子カルテ用と業務用に限定されていたWi-Fi環境を整備。コンセントが近い場所のWAPM-1266RにはACアダプター（別売オプション）にて給電し、その他の場所はBS-GS2016PからPoE給電することで最適な場所に設置。

●取材協力：株式会社ソフトエージェンシー

導入商品



5年保証※
11ac/n/a & 11n/g/b
DFS障害回避機能搭載
法人向け
無線LANアクセスポイント

WAPM-1266R



5年保証※
PoEスマートスイッチ
16ポートモデル
IEEE 802.3at対応

BS-GS2016P

※標準保証3年間、Web上の5年保証登録により2年延長